



# Nani!? UI デザイン詳細レポート

このドキュメントでは、catnoseさんが手がける **Nani!?** (AI 翻訳ツール) のデザインを細部まで観察し、再現性の高いガイドとしてまとめています。配色・フォント・余白・コンポーネントの形状や振る舞いまで網羅しているため、Tailwind CSS や他のフレームワークで同じ雰囲気を再現したい場合に役立ちます。

## 1. 配色とテーマ

**Nani!?** は淡いブルーを基調としたライトテーマで、アクセントには鮮やかなシアンが使われます。テーマ変数は CSS カスタムプロパティとして定義されています。

### 1.1 基本色

役割	CSS 変数	HEX 値	備考
ページ背景	--color-main-bg	#ffffff	ページ全体の背景。淡いブルーのグラデーションを上から下へ重ねている ①。
メインテキスト	--color-main-body	#080d12	Hero 見出しや本文など濃色テキストに使用 ②。
サブテキスト	--color-main-700 ~ --color-main-900	#6f767a ~ #4b5256	サブ見出しやリンクで使われるグレーの濃淡 ③。
カード背景	--color-main-25 ~ --color-main-100	#fbfdff ~ #f1f6f9	カード内面や FAQ 項目など、白ではなくごく薄いブルーで差別化する ④。
枠線色	--color-main-200 ~ --color-main-400	#e9eef1 ~ #cad3d8	カードや区切り線に使用される極薄いグレー ⑤。透明度 70% 程度のバリエーションもある ⑥。
アクセント色 (一次)	--color-primary	#24afff	ボタンや重要なラベル、言語バッジ選択時などに使用 ⑦。
アクセント色 (濃淡)	--color-primary-dark / -darker	#09a5ff、#008cf0	ホバーやプレス時に使用 ⑦。
アクセント背景	--color-primary-bg	#ebf6ff	入力カードやアイコン背景の淡いブルー ⑧。
アクセント背景 (濃淡)	--color-primary-bg-darker / -lighter	#e5f3ff、#f3f9fe	ドットパターンのセクションやセクション背景に使用 ⑧。
危険色	--color-danger	#ff6161	エラーメッセージやネガティブな状態に使用 ⑨。

役割	CSS 変数	HEX 値	備考
オレンジアクセント	--color-orange	#ffa861	Write Assist 機能など別機能のアクセント <sup>10</sup> 。
パープルアクセント	--color-purple	#6f8cff	チップやタグで使用される場合あり <sup>10</sup> 。

これらの色は Tailwind のカスタムトークンとして登録し、`bg-main-25`、`text-main-800` のように利用されます。薄い色は透明度付きクラス（例：`.bg-main-bg/10`）として定義されており、背景グラデーションやドットパターンの表現に使われています<sup>11</sup>。

## 1.2 グラデーションとパターン

- Hero セクションやフッター付近には、淡いブルー系のグラデーションが斜めにかかっており、背景用の CSS 変数 `--bg-gradient-sky` が使われています<sup>12</sup>。角度は約 153°、両端は `#a0c0ff` と透明色で構成されています<sup>13</sup>。
- ページ下部には小さな点のドットパターンが敷かれており、`background-image: radial-gradient` と `background-size` を組み合わせて実現しています<sup>14</sup>。色は `color-main-200` を 20% の透明度で使用しています。

## 1.3 色の使用ルール

- 主役はシアン系アクセント**：CTA ボタンや重要なリンクは `--color-primary` を使い、ホバー時には `--color-primary-dark` でわずかに濃くする<sup>14</sup>。
- 背景は白～薄いブルーの層**：セクションごとに `--color-main-bg` や `--color-primary-bg`、`--color-main-25` などの色を重ね、カード内部は純白にしないことで優しい印象を与える<sup>4</sup>。
- 枠線は非常に薄く**：`--color-main-200` や `--color-main-300` を 70% 透明にした色（`.border-main-200/70` など）を使用。カード同士の区切りをやんわり示す<sup>6</sup>。
- アイコン背景は淡い色**：サイドバーのアイコンやカード内の絵文字の背景は `--color-primary-bg` または `--color-second-layer-bg` を用いて半透明な色面を作り、イラストを優しく際立たせる<sup>15</sup>。

## 2. フォントとタイポグラフィ

Nani!? では可読性と親しみやすさを両立するため、サイズと行間が細かく調整されたフォントシステムを採用しています。

用途	CSS 変数	サイズ値	行間	備考
ヒーロー見出し	--text-2.5xl	1.65rem	1.3	ページ冒頭の「Nani!？」タイトルに使用。インターフェースのアイコンとバランスを取るため大きめ <sup>1</sup> 。
セクション見出し	--text-xl	1.26rem	1.3	各機能説明カードや「Supported Languages」などの見出し <sup>16</sup> 。
本文	--text-md	1rem	1.6	機能説明文・FAQ の本文など一般的な文章に使用。行間を広く取り読みやすくする。
説明や注記（小）	--text-3xs ~ --text-4xs	0.81rem ~ 0.75rem	1.4	FAQ の質問文やフッターのコピーライトなど小さなテキストに使用。

用途	CSS 変数	サイズ値	行間	備考
ボタンラベル	--text-sm	0.95rem	1.6	CTA ボタン「Start for free」などに使用。オールキャップではなく、文頭のみ大文字。
言語ピル (UI要素内)	-text-xs	0.91rem	1.5	「Supported Languages」の個別バッジやサイドバーのラベルに使用 <sup>16</sup> 。

全体のフォントファミリーは Inter, Helvetica Neue, Arialなどのサンセリフ体が組み合わされており、日本語フォントとして Hiragino Kaku Gothic ProNなどが指定されています。行間は最低でも 1.4（小文字の場合）～1.6（本文の場合）と広めに設定され、密度を上げすぎないことが特徴です<sup>17</sup>。

### 3. レイアウトと余白

#### 3.1 全体構造

画面は左側の サイドバー と右側の メインコンテンツ の 2 列構造です。サイドバーの幅は 298px に固定されており<sup>18</sup>、メインコンテンツは残りの幅でスクロールします。背景は全体で淡いブルーのグラデーションが敷かれており<sup>1</sup>、セクションごとに薄いカードや色面を重ねて情報を区切れます。

#### 3.2 ヒーロー & 翻訳入力ボックス

- ・ページ最上部にはサービス名「Nani!？」とサブタイトルが中央寄せで配置され、その下に翻訳入力ボックスが配置されています<sup>1</sup>。
- ・入力ボックスは外枠と内枠の二重構造で、高さ約 200px、幅はサイドバー以外の横幅いっぱいを使います。角丸は radius-xl 相当 (1rem) で、背景は薄いグラデーション(--color-primary-bg)です。
- ・左上にターゲット言語の選択ピル（言語名と下向き矢印）があり、右下に「Translate ↑」ボタンがあります。ボタンはアクセント色のベタ塗りで、内側には細い矢印アイコンが白で描かれています。
- ・入力欄の内部は純白ではなく --color-main-bg を基調にした薄いブルーで、未入力時は Type in any language... というプレースホルダが表示されます<sup>1</sup>。
- ・ボックスの左右には小さな設定ボタンと翻訳の方向表示（「English will be translated into Japanese, other languages into English.」）がグレー文字で配置されています。

#### 3.3 特長紹介カード

- ・翻訳ボックスの下には 2×2 のグリッドで機能説明カードが並びます。各カードは白背景に淡い影を持ち、角丸は大きめ (radius-2xl=1.25rem)。カード間の余白は 1rem～1.5rem です<sup>4</sup>。
- ・上部に大きな 3D 絵文字アイコンが配置され、下にサブタイトルと本文が続きます。絵文字の背景は淡いブルーやパープルの円形/楕円形で、絵文字を際立たせます。
- ・カードの中には斜めにリボンやラベルが載っているものもあり（「AI-powered replies」カードでは「Reply with AI」ラベルが斜めに配置）<sup>4</sup>。このラベルは --color-primary-bg-darker の薄い背景に紫文字が乗っており、shadow で浮かせています。

#### 3.4 mac アプリのデモカード

- ・中央にある大きなデモカードは、縦横比 10:7 の長方形で、背景にピンク～ブルーのグラデーションを使用しています<sup>15</sup>。

- 上部には翻訳アプリのスクリーンショットがはめ込まれ、下部にはアプリのアイコンを並べた Dock が配置されます。Dock は半透明の白 (#fffffff4d) で、ボーダーと微弱な影が付いています<sup>19</sup>。
- デモカード全体の角丸は 2rem (--radius-4xl) と非常に大きく、ページの中で特に目立つ存在となっています。

### 3.5 サポート言語セクション

- 水色背景のカードに世界地図アイコンと「Supported Languages」の見出しを中央配置し、その下に言語バッジを横並びに配置しています<sup>16</sup>。
- カードの外枠は白色の線で、角丸は 2rem (--radius-4xl) ほど。内部余白は 2rem 以上と非常に広く、ゆったりとした印象を与えます。
- 各言語バッジは白背景に薄い枠線を持ち、角丸は radius-sm (0.52rem) 相当。選択中のバッジはアクセント色 --color-primary の塗りつぶしになり、白文字が入ります。

### 3.6 FAQ セクション

- FAQ 全体を包むカードは --color-primary-bg-lighter を背景に持ち、角丸は 2rem ほど。カードの外側にだけ薄い影があり、ページの他のカードとの階層差を演出しています<sup>16</sup>。
- 各質問行は白背景の横長 pill で、行ごとに border-bottom を引いています。クリックすると回答がスライドダウンし、背景色がやや濃く変化します。
- FAQ の最後には Translate + ボタンが添えられ、質問に対する補足アクションとして設置されています。

### 3.7 フッターとコールトゥアクション

- FAQ セクション下部にはページ中央寄せの CTA 「Start translating for free.」と青色ボタンが配置されています<sup>14</sup>。ボタンは大きく、縦 48px・横 200px 以上、角丸 30px です。ホバーで --color-primary-dark に変化します。
- フッターは 2~3 列のカラムで構成され、「Nani!?」「Nani!? (製品一覧)」「Support」「Links」などのカテゴリに分かれてリンクが並びます。各リンクは text-main-700 のグレーで、ホバー時に text-main-900 に濃くなります<sup>14</sup>。
- フッター最下部にはコピーライト表記と小さな言語切替ボタン（フラグアイコン付き）があり、グレーのドットパターン背景の上に載っています。

## 4. サイドバー

左側のサイドバーは常に表示され、アプリ内のナビゲーションを担います。

### 4.1 構造

- 幅は固定 298px<sup>18</sup>、背景は --color-main-bg (白) で、全体に薄いシャドウが付いています。
- 上部には猫のロゴアイコンとトグルボタンがあり、すぐ下に言語セレクター（角丸ピル）が配置されています。セレクターは text-xs サイズ、背景は白、フォーカス時に --color-primary-bg-darker へ変化します。
- メインメニューは 2 つの項目から成り、現在は AI Translate と Write Assist (Soon) が並びます<sup>20</sup>。選択中の項目は bg-primary の薄い背景でハイライトされ、アイコンも --color-primary で塗りつぶされます。
- サイドバー下部にはプライバシーの説明カードがあり、薄いグレーの枠線とロックアイコンが付いています。その下にログイン促進のメッセージとボタンが並びます。

## 4.2 ボタンとインジケーター

- ・サイドバー最下部の「Start for free」ボタンはページ本体のCTAと同じスタイル（高さ48px、角丸30px、背景グラデーション）で設置され、すぐ下にWindowsアイコン付きの「Download」リンクがあります<sup>20</sup>。
- ・ボタンの周囲には余白がしっかり取られ、指が押しやすいサイズになっています。またボタンの内側にはわずかなインセットシャドウが入っており、押し込み感を演出しています。

## 5. コンポーネントの寸法とスタイル

### 5.1 カードの角丸と影

- ・**基本カード** : `--radius-2xl` (1.25rem) を使用し、外側に `border: 1px solid var(--color-main-200/70)` を引きます。カード内側の背景は `--color-main-25 ~ --color-main-100` で、落ち着いた印象を与えます。影は `box-shadow: 0 1.5px 4px -0.5px rgba(0,0,0,0.04)` とごく控えめです。
- ・**大きなデモカード** : `--radius-4xl` (2rem) を使い、カラフルなグラデーションを背景にします。影は少し強め (`0 1.7cqw 4cqw rgba(0,0,0,0.14)`)<sup>19</sup>。
- ・**アイコンコンテナ** : `.rounded-icon { border-radius: var(--radius-icon) }` と定義され、値は32%<sup>21</sup>。完全な円ではなく、やや四角が残る柔らかな角丸です。
- ・**バッジ／ピル** : `--radius-mdlg` (0.75rem) や `--radius-sm` (0.52rem) が使われ、言語ピルやFAQの質問行など、小型のコンポーネントで統一感を出します。

### 5.2 ボタン

- ・**Primary ボタン**は `bg-primary` (`--color-primary`) で塗りつぶし、高さは 2.5rem (約40px) 以上、角丸は 30px です。テキストは白、フォントは `--text-sm`。ホバーで `--color-primary-dark` に暗くなります<sup>14</sup>。
- ・**Secondary/Outline ボタン**は背景が `bg-primary-bg-darker` または透明で、`border: 1px solid var(--color-primary)` を用います。テキストは `--color-primary` で、ホバー時に背景が `--color-primary-bg` へ変化します。
- ・**Icon ボタン** (設定アイコンや絵文字ボタン) は正方形で、`--radius-icon` を使用し、背景は `--color-second-layer-bg` または `--color-primary-bg`。アイコン自体の色は `--color-main-600` や `--color-primary` を使用します。

## 6. 振る舞いと UX

### 6.1 フォームと入力

- ・テキストエリアは `contenteditable` を使用し、プレースホルダは淡いグレー (`--color-main-600` を薄くした色) で表示されます<sup>1</sup>。フォーカスするとボーダーが `--color-primary` に変化し、入力エリアがわずかに浮き上がるよう見えます。
- ・**Translate** ボタンは入力内容が空の場合グレーアウトし、入力があると色付けされます。無効状態の色は `--color-main-300` です。
- ・入力欄の下には翻訳先言語のヒント (`English will be translated into Japanese...`) が表示され、アイコン付きで説明してくれます。

### 6.2 アニメーションとフィードバック

- ・画面にスクロールで表示される各セクションには淡いフェードイン (0.3s) が適用され、`--animate-fadeIn` 等のカスタムプロパティでコントロールされています<sup>22</sup>。

- ・デモカードの Dock のアイコンはアクティブ状態になると背景色が `color-mix` で 20% シアンを混ぜた色に変わり、少し上に持ち上がるアニメーションがあります <sup>23</sup>。
- ・FAQ の質問行をクリックすると、矢印アイコンが回転し、回答部分がスライドダウンします。トランジションは `0.2s ease-in-out` 程度で滑らかです。
- ・ページ下部のドットパターンは固定されており、スクロールしても背景が動かないように設定されています (`background-attachment: fixed`) <sup>12</sup>。

## 6.3 ユーザーデータとプライバシー

- ・サイドバーのロックアイコン付きカードには「Translation data is stored on your device, not on our servers. It's never used to train AI models.」と明記されており、プライバシーに配慮したデザインが前面に押し出されています <sup>20</sup>。
- ・翻訳を実行すると reCAPTCHA による「Verifying human...」トーストが右下に表示されます <sup>14</sup>。検証完了前は翻訳結果が返ってこないため、UI ではその間にスケルトンや進捗表示が出る設計になっています（ログインしていない状態では `Checking you're human...` のメッセージが翻訳ボックス内に表示される <sup>24</sup>）。

## 7. まとめと再現ポイント

Nani!? の UI は、淡いブルーを基調にしつつ、明るいシアンのアクセントを効かせた、優しくモダンな世界観で統一されています。再現する際は以下のポイントを意識してください。

1. **カラーパレットの厳守**：メイン色やアクセント色は CSS 変数からそのまま引用し、透明度を調整して使い分けます <sup>9</sup>。
2. **大きな角丸と広い余白**：カードやボタンは radius-2xl 以上の角丸を使用し、内部の余白も 1.5rem 以上確保してゆったりと見せます <sup>4</sup>。
3. **フォントサイズと行間を広く**：本文は 1rem・行間 1.6、見出しは 1.26rem 以上を基準にし、小さなラベルも 0.75～0.91rem で統一します <sup>25</sup>。
4. **陰影は控えめに**：ドロップシャドウは薄く、代わりに色の階調差や枠線でカードの階層を表現します <sup>26</sup>。
5. **アニメーションは短く自然に**：Fade in やスライドインは 0.3～0.4 秒、`ease-out` や `ease-in-out` のカスタムカーブで動かしすぎないようにします <sup>22</sup>。

これらの要素を踏まえれば、Nani!? と同様のリラックスした雰囲気と高度なユーザビリティを併せ持つインターフェースを再現できます。

## 8. さらに細かいデザイントークン

Nani!? の CSS には、角丸やテキストサイズ、レイヤー順序を統一するためのトークンが多数用意されています。フロントエンド実装時にこれらをカスタムプロパティや Tailwind の変数として定義すると、微妙なニュアンスまで忠実に再現できます。

### 8.1 角丸サイズ

以下は `--radius-*` 系変数の主な内容です。値はコンポーネントによって `%` や `rem` 指定で異なるため、実装ではサイズ感を確認しながら採用してください <sup>27</sup>。

変数名	用途・目安	備考
--radius-2xs	ごく小さな角丸（チェックボックスやインジケーター）	約 2~4px 相当の丸み。
--radius-xs	小さめ角丸（アイコンボタン、フォームビル）	radius-sm よりさらに小さい。
--radius-sm	ボタンや言語バッジの角丸	0.52rem 程度。
--radius-md	ドロップダウンやカード内の小要素	--radius-sm と --radius-lg の中間。
--radius-mdlg	ピル型バッジの角丸	0.75rem 前後で、FAQ 行などの横長ビルに使用。
--radius-lg	複数行のカード、セクション背景	0.9~1rem。
--radius-xl	翻訳入力ボックスなど大きな要素	1rem~1.3rem。
--radius-2xl	機能紹介カード、言語セクションの枠	約 1.25rem。
--radius-3xl	より大きなカード	1.7rem 以上。
--radius-4xl	Mac デモカードなど特大の枠	2rem~2.5rem。
--radius-icon	アイコンコンテナの角丸	32% - 円に近いが四角い部分を少し残す <sup>21</sup> 。

## 8.2 テキストサイズとラインハイド

--text-\* 変数には非常に細かい段階でサイズが定義されており、以下はその一部です <sup>28</sup>。Tailwind への落とし込み例として記載します (1rem=16px)。

変数名	サイズ (approx.)	行間 (approx.)	用途
--text-5xs	0.65rem (10px)	1.4	日付表示などの極小文字。
--text-4xs	0.72rem (11.5px)	1.4	補足テキスト。
--text-3xs	0.81rem (13px)	1.4	サブキャプション、FAQ文。
--text-2xs	0.87rem (14px)	1.4	サイドバーのラベル等。
--text-xs	0.91rem (14.5px)	1.5	言語バッジのラベル。
--text-sm	0.95rem (15px)	1.6	ボタンのラベル。
--text-md	1rem (16px)	1.6	通常の本文。
--text-lg	1.13rem (18px)	1.6	セクションタイトル。
--text-xl	1.26rem (20px)	1.3	翻訳カードなどの見出し。
--text-2xl	1.44rem (23px)	1.3	より大きな見出し。
--text-2.5xl	1.65rem (26px)	1.3	ページの主要タイトル <sup>1</sup> 。
--text-3xl	1.8rem (29px)	1.2	ごく大きな見出し。

Tailwind ではこれらを `text-[13px]` や `leading-[1.4]` のようにカスタムクラスで再現すると良いでしょう。行間は小さい文字ほど 1.4、大きい文字ほど 1.3~1.2 に設定されています。

### 8.3 レイヤーと Z-インデックス

レイヤー管理用に `--z-*` 変数が定義されています<sup>29</sup>。値の実体は CSS ファイル内で整数として与えられ、下記のような順序になっています。

- `--z-sticky` (例: 30) … スクロールに追従するヒーロー背景やセクション見出し。
- `--z-sidebar` (例: 50) … サイドバーや常時表示されるメニュー。
- `--z-dropdown` (例: 80) … 言語セレクターのドロップダウンメニュー。
- `--z-modal` (例: 100) … ポップアップやログインモーダル。
- `--z-tooltip` (例: 110) … ツールチップやフローティング UI。

実装する際は、Z-index の値を大きくしそぎないようにし、重なる要素間の層を整理しておくことが重要です。

### 8.4 アニメーションとイージング

Nani!? では `--ease-spring` や `--ease-spring-subtle` などのイージング関数と `--animate-*` というアニメーション変数が定義され、滑らかな動きを実現しています<sup>30</sup>。

- `--ease-spring`: `cubic-bezier(0.34, 1.56, 0.64, 1)` のようなバネの動き。アイコンのホバーや Dock のアクティブ化に使われます<sup>23</sup>。
- `--ease-spring-subtle`: バネ感を抑えたカーブ。バッジのリボンや FAQ の矢印回転で使われる。
- アニメーションプリセット: `fadeIn`, `fadeOut`, `fadeInUp`, `slide-from-left`, `slide-from-right` などがあり、通常は 0.24~0.45 秒で設定されています<sup>31</sup>。

これらのプリセットを CSS `animation` プロパティで指定すると、同じタイミングと動き方が再現できます。Tailwind のアニメーションクラスに同名を登録しておくのも一案です。

---

1 4 12 14 15 16 18 20 24 Nani Translate: Fast AI Translator for Natural Results

<https://nani.now/en>

2 3 5 6 7 8 9 10 11 17 21 22 25 27 28 29 30 nani.now

[https://nani.now/\\_next/static/chunks/9000835c7bd502a2.css](https://nani.now/_next/static/chunks/9000835c7bd502a2.css)

13 19 23 31 nani.now

[https://nani.now/\\_next/static/chunks/19c1adb58fd0fb3c.css](https://nani.now/_next/static/chunks/19c1adb58fd0fb3c.css)

26 raw.githubusercontent.com

[https://raw.githubusercontent.com/catnose99/team-blog-hub/main/src/styles/components/\\_PostList.scss](https://raw.githubusercontent.com/catnose99/team-blog-hub/main/src/styles/components/_PostList.scss)